”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 16 号 ＞
２００９．２．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

生産者･消費者一体となって環境農業の推進を！！

１月２４日（土）に、県、ＪＡ島根中央会、ＪＡ全農島根の主催で、「環境にやさしい農業」を県民一体となって推進するために、松江市の「くにびきメッセ」で開催された「環境農業シンポジウム」に約３００人（うち、農地・水対策取組団体１１団体、約９０名参加）が参加されましたので、その概要を紹介します。

冒頭、溝口知事は「農業は長い歴史の中で人間の生活とともに歩んできたが、生産を伸ばし、効率化を進める近代化の中で、環境に影響を与えるようになってきた。豊かな農業を守っていく必要があり、そのためには環境と農業の調和が必要だ。」と環境農業推進の重要性を述べられました。

シンポジウムでは、まず今年度初めて行われた「環境農業大賞」の表彰式があり、県知事賞を受賞された「柿木村有機農業研究会」を初め受賞４団体の表彰の後、「ＮＰＯ法人・メダカのがっこう」（東京都）の中村陽子理事長、根本伸一副理事長の基調講演、受賞団体の取組発表、パネルディスカッションと盛りだくさんの内容でした。

＜環境農業大賞受賞団体＞

県知事賞	柿木村有機農業研究会（吉賀町）	応援部門賞	ホシザキグリーン財団（出雲市）
生産部門賞	(農)ファーム宇賀荘（安来市）	審査員特別賞	県立益田翔陽高校（益田市）

今回のシンポジウムは、環境にやさしい農業を「生産者と消費者が連携し、共に進めていくこと」に着目し、今後のあり方を考える観点から意見発表や議論が行われました。メダカのがっこうの中村理事長は、「生き物がたくさんいるような田んぼを作ってくれる農家は私たちの宝のような存在。そんな皆さんを支えようと、交流活動や生産物の契約栽培などに取り組んでいる。こんな考えを、持っている消費者は島根にもいるはず。情報発信を積極的に行い、消費者との連携をもっと考えられるべきだ。」と強いエールとメッセージをいただき、環境農業への意識の高まりを感じる大会となりました。

活動事例紹介

活動組織名：日下環境保全組合（出雲市）

～子どもたちの笑顔でいっぱいのコスモス畑迷路～

日下環境保全組合（出雲市）では、生産調整田に春にはレンゲ、秋にはコスモスを植え、ここが地域みんなの憩いの場となっています。

昨年９月には、かわいい助っ人（近くの保育園児）も参加し、約７反の農地にコスモスとレンゲの種をまきました。コスモスが満開になった１１月には、保育園の園外活動がコスモス畑で行われ、園児たちが思いっきり遊べるようにとコスモス畑のなかにハンマーナイフモア（トラクタ装着）で幅１ｍ程の通路をつくりました。小さな園児たちにとっては迷路のようで、園児たちが走り回るコスモス畑は笑顔と歓声があふれていました。また環境学習会も兼ねたコスモス祭りも開き、地域の交流の場となりました。

今後は、コスモスを活用した地域外の人たちとの交流を深めたいと考えており、まずは１０月の「出雲駅伝」の時にコース沿いをコスモスでいっぱいにすることを計画しています。

また、地域内の水路では、生き物調査と水質調査も行っています。生き物調査では組織内の二人の「自然観察指導員」が中心となり、地域内の子ども達も参加し、年２回の調査を行っており、今まで知らなかった希少な魚も発見され、改めて地域の豊かな自然を認識しました。調査結果はコスモス祭りの時に構成員への報告も行っています。更に今後は、宍道湖自然館ゴビウスの助言もあり、幹線水路内に「生き物を保全するため、岸辺に泥と水草を残す領域」を造成することも検討中です。

この調査結果を将来に向けた生活環境や営農環境の改善にどうのように繋げて行くかが、現在の課題です。

中国四国農政局抽出検査　速報!!

この度、県内７活動組織を対象に実施された抽出検査において、次の指導がありました。

特に、共同活動支援については、地域ぐるみでの共同活動が前提であり、そのために支援金が交付されていることを意識して活動するよう指導がありました。

年度末を迎え、実施状況報告書、実施状況調書等の作成の参考にしていただくとともに、今後の会計処理、事務処理等の参考にしてください。

①　活動の記録として、作業日報、写真を揃えておく

支払いがない活動でも、作業日報（活動メモ）、写真を保存していないと、市町村は実施状況確認ができません。支払いの根拠としても作業の記録を確認することがあります。

②　日当支払い、借上げ料等、単価を決定した記録、書類を保存しておく

日当の計算は時間単価を決定し、単価×時間で算出する方法が一般的です。

単価を決定した根拠となる会議記録、内規等の書類を揃えておきます。また、日当支払いには日当計算表を作成し、根拠資料として保存しておきます。

③　金銭出納簿には、領収書番号、活動日を忘れずに記入する

金銭出納簿は収入、支出とも１件１行で必要事項を記入し、領収書番号、活動実施日を忘れずに記入しておきます。

④　領収書の宛名、但し書きは必ず記入してもらう

領収書の宛名は活動組織名を記入しますが、立替払いの場合で構成員宛の領収書のときは、その構成員から活動組織宛の領収書も合わせて揃えておきます。（活動組織宛の領収書を２段階の領収書で保存する）

また、但し書きは内訳が分かるように記入しますが、請求書があれば保存しておきます。

⑤　建設業者等へ作業委託等には、契約書又は請書を残しておく

工事委託等、業者への委託工事や高額な機器の購入の場合には見積をとり、適正な支払いの根拠として揃えておきます。委託契約では契約書又は請書を残しておきます。

⑥　感熱紙の領収書やレシートは、コピーをとる

感熱紙の領収書やレシートは感光して確認できなくなるため、コピーをとって両方を保存しておきます。

⑦　不適切な支出と疑われないよう、日頃の適切な資料整理を行う

特に大きな活動組織では、不適切な購入や契約が行われないように事務局と構成員が頻繁に連絡を取り合い、適切な根拠資料を保存しておきます。

⑧　女性や子供たちの参加できる活動を増やしていく

農村環境活動などの女性や子供たちが楽しんで活動できる取り組みを増やし、地域住民の認識を深めるとともに、共同活動への参加者を増やしましょう。

⑨　監査会を必ず行い、活動組織の構成員へ周知する

適正な会計処理を確認するため、必ず監査会を行い、構成員へ報告してください。

★今月の予定★

１２日（木）	「堆肥の品質向上と土づくりのための研修会」出雲市（ビッグハート）13：00～
１４日（土）	「カバープランツ研修会」出雲市（長浜コミュニティセンター）13：00～

高圧洗浄機器一式レンタル実施中！

― 簡易な水路補修活動に是非ご活用下さい ―

貸出機器	高圧洗浄機一式、発電機、水中ポンプ、ディスクグラインダ等々	
レンタル内容	期　間	１週間を単位とします。 （週中に提供し、土、日共同作業実施を想定しています。）
	料　金	１５，０００円／１週間（派遣人件費及び機器損料として）
	条　件	・レンタル初日、活動組織へ運搬し、操作方法について現地で実演します。 ・洗浄機、発電機用の無鉛ガソリンは活動組織で準備してください。 ・レンタル最終日、活動組織に出向き機器等点検後受取ります。 （備品等故障、紛失の場合は実費弁償願います。）

～　編集後記　～

今年の世界の実質成長率は前年比 0.5%、日本は 2.6%減（国際通貨基金-ＩＭＦ-発表）。世界的には第二次大戦後、日本では 1956 年以降で最低水準に落ち込む見通しとのこと！世界同時不況が到来し「派遣切り」や賃下げなどによって、不況感は今後ますます広がっていくだろう！労働者の 1/3 が非正社員と言われ、この 3 月までに全国で約 123 万人以上が職を失うと聞くと、これはもう生活スタイルや考え方を大きく変えざるを得ないのではと思う。“都市的な大量浪費生活を維持しながら、自分に合った仕事をする”から“生活の質をどんどん落とし、食うために働く”にチェンジ！！一度豊かな生活を味わった者は、生活の質を落とすことが出来ないと賢者は言うが、ほんの数十年前は食うのがやっとだった日本である。そうした新しい時代のため、しっかりと農地や地域資源を共同活動で守っていきたいものです！！

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　℡0852-32-4141　Fax0852-24-0848
http://www.shimanedoren.or.jp/arkadia/kai_set.htm

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）℡0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）℡0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合せ下さい。